



写真3 「祭山神圖」



写真2 「杣小屋之圖 其二」



写真1 「山翹之圖」

「木曾式伐木運材図会」は、江戸時代後期頃の木曾地方や飛騨地方で行われていた伐木・運材の技術や、作業に携わる人々の姿、道具などを、上巻二十点と下巻二十一点で鮮やかに描いた絵巻物です。では早速、順をおってそのいくつかの場面を紹介していきましょう。

上巻の最初の場面は、「山翹^{やまかき}」から始まります(写真1)。画面の中央、斜面にへばりつくように小さく描かれた人が、山の検分を行っているところです。険しい奥山の姿が黒々と葉を茂らせた樹木とともに表現されています。

「杣小屋」の場面では杣人たちが囲炉裏の火を囲んでいます(写真2)。くつろぎ方にもそれぞれ個性がありますね。炎の鮮やかさが小屋の暗さと対比的です。

山仕事には信心も欠かせません。「山神を祭る」場面では神さびた老木の前で杣人が手を合わせて作業の安全を願っています(写真3)。

「元伐」は躍動感あふれる描写です(写真4)。斧をふるう杣人のまわりには木屑が飛び散ります。左の詞書^{ことばがき}には、伐採前に木を斧でたたいて鳥やリスが飛び出てきたら、その日はその木を伐採しないと書いたことも書かれています。

伐採した木は山で造材します。「御山厘」の厘とは造材に用いる台木のことで、それが造材作業



図会を広げた状態

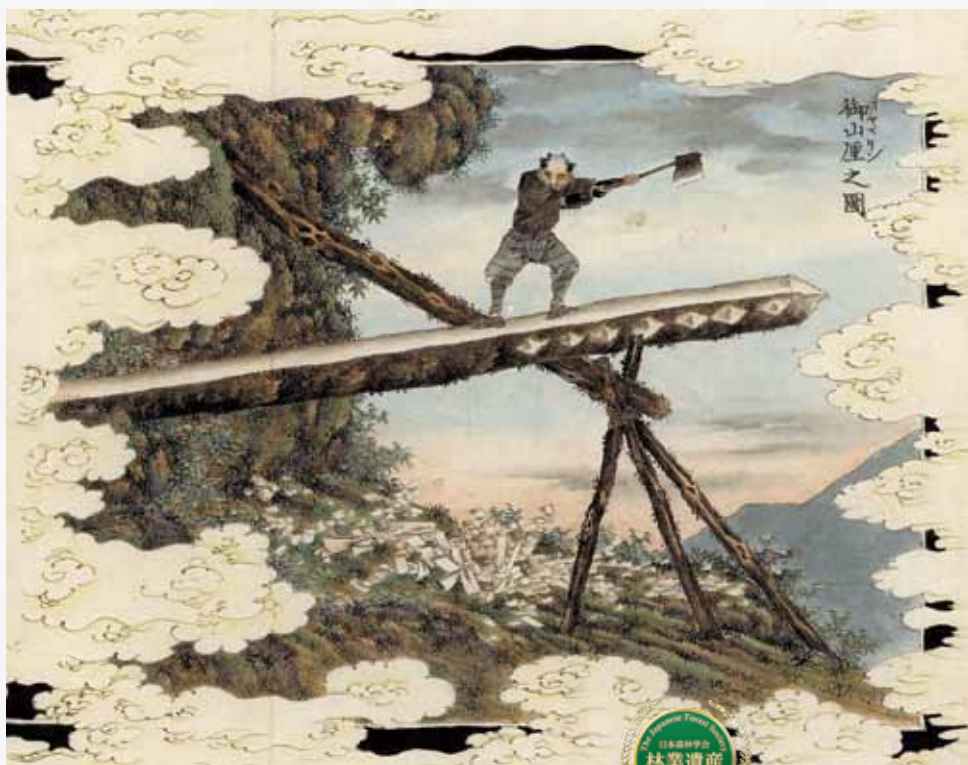


写真5 「御山厘之圖」

日本森林学会による

日本の林業遺産を知ろう！

第10回

木曾式伐木運材図会

富山大学芸術文化学部 おく奥 ひろかず 敬一

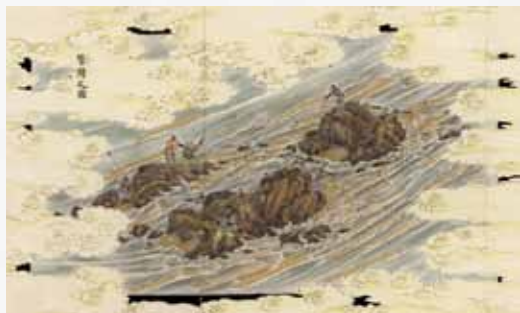


写真7 「管狩之圖」



写真6 「纏之圖」



写真4 「元伐之圖」



写真8 「梓乗下ヶ之圖」



写真9 「尾州白鳥湊之圖」

自体を表すようになりました（写真5）。材に乗って軽やかに造材する技が表現されていますね。

ここからは運材の様子へと移ります。

「^{さで}纏」の図では、谷川まで材を滑り下ろすため急斜面に設えられた搬出路の全体像が描かれています（写真6）。この図の後には、地形にあわせて搬出をスムーズにするための様々な仕掛けが五図にわたって説明されています。こうした地域独特の運材技術によって、材は大川（飛騨川）に下ろされます。

下巻では、飛騨川から木曾川本流を下り熱田の白鳥湊まで材木が運ばれる様子が描かれます。「管狩」は管流しとも言われ、材を一本ずつバラバラに流す流送方法です（写真7）。途中の岩場にひっかかる材は、トビ一本で流れに

戻さなければなりません。

川幅が十分広いところまで出たら、三人の筏夫が乗れるくらいの「^{いかだ}梓」を組んで最下流まで流します（写真8）。ここまですればあと少し。

終着は「白鳥湊」。材木は木曾川の河口から海岸沿いに運ばれ木場に集められます。港町のにぎわいが、沖で待つ大船、小舟とともに描かれています（写真9）。

以上のような現場での作業風景以外にも、杣道具の図や角材の造材方法、造材担当者や判別する杣判などを描いた図も含まれています。

実はこの図会の作者や作成時期、作成目的等については、直接の史料がなく詳細が明らかになっていません。しかし近年の調査からは、1845年に飛騨国高山郡代役所の地役人土屋秀世が絵師の松村寛一に描かせて解説を付した「官材画譜」という作品がオリジナルとして存在しており、それをもとに作成した派生作品だろうと推測されています。明治初期には勸業博覧会への出展や天皇巡幸などにあわせて、類似の図会や版画などが多

数作成されています。この図会も木曾の官林についての説明資料として、また関係者や海外への贈答品として作られた作品のひとつと考えられます。

また美術史研究者の所見によれば、その描法から西洋画の技法を習得した明治期の日本画家が関わっているとみられます。後半で画風が少し変わるところからみると、何らかの事情で短期間で完成させるため、複数の人物が作業を分担して制作したのかもしれない。

いずれにせよ、関連する作品中でも、もつとも丁寧に描き込まれ、よい画材を用いて豪華につくられた、最上級の美品であることは間違いありません。

図会を所蔵する中部森林管理局経理課課長補佐の森孝之さんは、「江戸時代後期の木曾・飛騨地方で行われていた林業を描いたものは希少で、日本林業史の研究や教育にとって貴重な資料であり、適切に保管をし後世に引き継いでいきたい。また、日本近代絵画史の面からも希少な価値がありますので、多くの皆さんにも知っていただけるよう広報にも努めていきたい。」と重要性和所蔵の意義を語っています。

なお、本図会の一般公開はしていませんが、年一回の虫干しの際に報道関係者へ公開しています。また、中部森林管理局のウェブサイトにも全図が掲載されていますので、関心をお持ちの方はぜひご覧ください。